

令和5年度あきる野市タウンミーティング 主な懇談内容

2 五日市出張所 まほろばホール <令和5年10月18日(水)開催>
① 武蔵五日市駅前市有地の活用について
Q 武蔵五日市駅前市有地に整備を予定している施設と観光協会との関係は。人を集客して、活動場所に連れていくのはどのような人たちなのか。
A 観光協会との連携は今後検討していく。管理、運営についてもこれから決めていく。集客等については、様々な情報発信ツールを活用し周知を行い、施設を拠点に集まった人たちを、各地域の体験できる場所へ連れて行くことで、色々なお店での消費が促され、団体の活動が活性化されていけば良いと思う。
Q 武蔵五日市駅前市有地活用計画について、アウトドアなどの観光客を想定した記載が多い。市民にとって何かメリットのあるものはあるのか。
A 武蔵五日市駅前の活用については、計画段階ではあるが、地域の方も利用できる施設であり、広場で休んだりイベントに参加したりなど幅広く利用いただけるものである。
② クマ出没時の対策について
Q 7～8月にかけてクマが3回出没している。緊急なので防災無線でお知らせしてほしいとお願いしたが、様々な課題があるとのことであった。これからの時期において、緊急性を要することなので、もう一度検討してほしい。
A クマの出没に関する周知については、意見が様々ある。今の時点では、その地域で警察や猟友会に協力をしてもらいながら、リスクを軽減する方法を取っている。広域に出るようになると、また状況は変わる。意見をいただきながら進めていきたい。
③ 市内公園への大型遊具の設置について
Q 大型遊具のある公園が市にはないため、他市の公園まで行っている。大型遊具のある公園の設置をお願いしたい。
A 公園への自動販売機の設置や企業版ふるさと納税の活用など、収入を増やす取組を進めながら、遊具も少しずつ増やしていきたい。
④ 農地や空き家の維持管理・活用に関する取組について
Q 農地自体があきる野市の良いところだと思う。高齢で農業ができなくなる人と、若い人で農業をやりたいと思う人の間で市が関与して維持していくべきと考えるがいかがか。
A あきる野市の自然の良いところというのは、もちろん農地も含んでいる。市としても、就農支援、農地貸借の斡旋を実施しているので、更に進めていきたい。
Q 貸借に当たっては、農地も空き家も所有者の理解を得る必要があることから、様々な情報を知る機会をつくらないとなかなか難しいと思う。
A 農地も空き家も管理の方法には様々な手法がある。遊休農地を減らす努力をしていきたい。
⑤ 町内会・自治会の在り方について
Q 町内会・自治会の在り方について、実態に合わせて市として考え方を整理してほしい。住んでいる人が幸せでいきいき暮らせる仕組みをつくってあげれば、移住者も来ると思う。
A 町内会・自治会に限らずあらゆる組織において会員が減少し、厳しい状況である。解決の特効薬はないが、一番大事なことは、人のつながりだと思っている。人と人のつながりがあるところがあきる野市の良さなので、それを大事にできるように力を入れていく必要がある。